

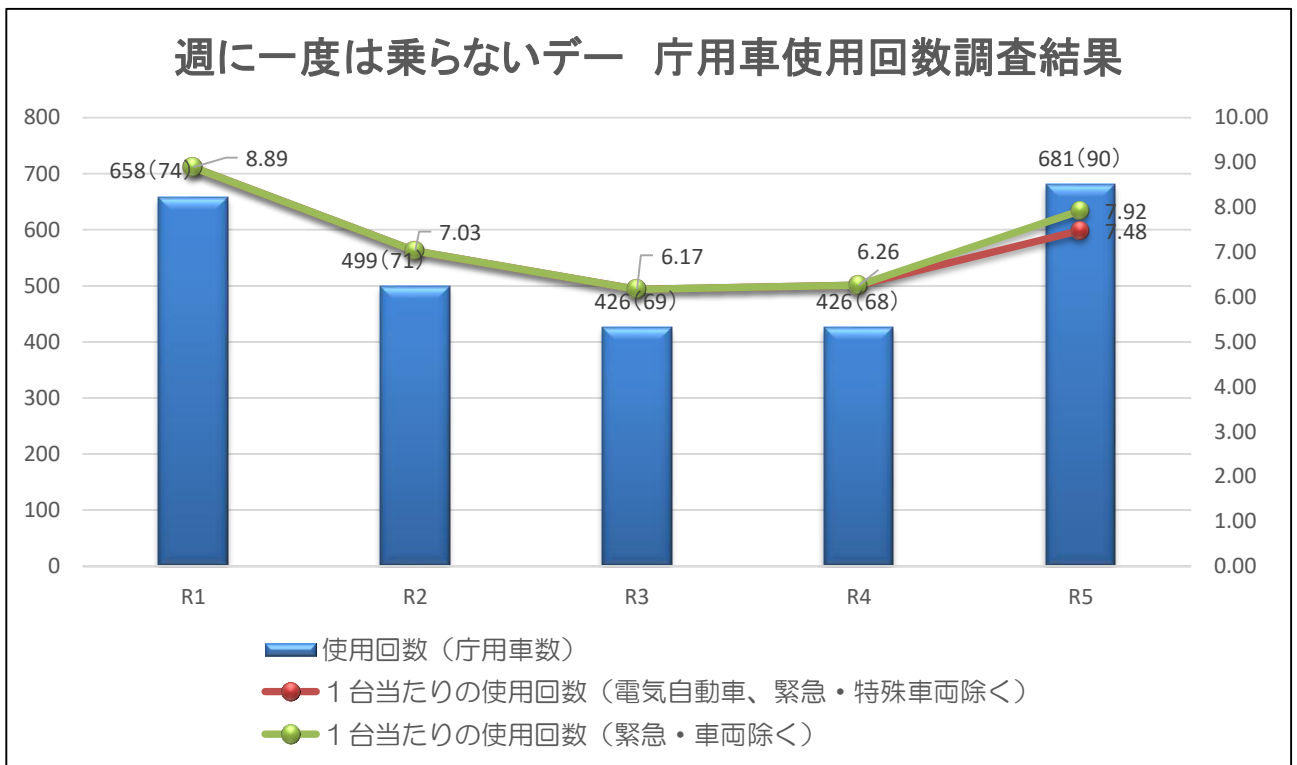
～冬季自動車使用抑制キャンペーンの実施結果～

1 概要

冬は、自動車からの排出ガスで、大気中の二酸化窒素濃度が高まるため、11月から翌年1月までの期間を「週に一度は乗らないデー」を合言葉に、自動車による環境負荷低減の啓発と冬期における大気環境の改善を目的として、冬期自動車使用抑制キャンペーンを実施いたしました。

上記キャンペーンの一環として、冬期自動車使用抑制キャンペーン期間中の水曜日において、環境に配慮した庁用車の利用推進を図るため、原則水曜日を「ノーカーデー」と設定したうえ、前年度の使用回数を上回らないよう所管課により記録した庁用車の使用回数の集計を行いました。

2 結果(調査対象車90台)



3 総評

前年度の調査では、燃費向上に関する調査の実施に伴い、軽油及び電気自動車を除外しておりましたが、今年度の調査ではノーカーデーにおける使用回数に着目した調査を実施することから、緊急車両や特殊車両(消防車等)を除く全ての庁用車を対象に実施いたしました。

結果として、前年度と比較し、対象の庁用車の増加に伴い、ノーカーデーにおける使用回数が増加したほか、昨年度同様の調査対象車(電気自動車、緊急・特殊車両を除いた庁用車)に着目すると、1台当たりの使用回数は昨年度よりも増加した結果となりました。

また、前年度の使用回数を上回らないという目標を達成した台数は、前年度調査時の33台に対し、48台と増加した結果となりました。

引き続き、環境に配慮した庁用車の利用をしていただくほか、ふんわりアクセルの徹底や余分な荷物の積載をしない、近場への移動は自転車を使用する等の燃費改善のための取組を強化するとともに、より多くの職員の意識向上に取り組んでまいります。